

令和5年3月15日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

議会運営委員会

委員長 佐藤隆治

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和4年第2回意見交換会時要望・意見に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和4年12月13日、令和5年1月19日
- 3 意見 別紙のとおり

【議会運営委員会】令和4年11月12日 市民との意見交換会（要望・意見）

項目	要望・意見	回答
1	<p>取手市議会はITを使って議会運営を効率化している。行政の場でも使われているのであれば、さらに連携して市議会からも提言してほしい。</p>	<p>行政側にも、IT化推進を働きかけ、議会と連携出来る点については、連携に取り組めるよう努めます。</p>
2	<p>参加者を増やすためには、市民との意見交換会というより、議員との意見交換会が正しいのではないかと。議員と語ろうというサブタイトルが正しい、しっくりくる。議員にたくさん意見が言える、ということが伝わるのが大事ではないかと。</p>	<p>「市民との意見交換会」は、議会が主催しているため、名称はこれまでどおりとさせていただきます。</p>
3	<p>意見交換会での回答が前回の回答から変わらない。</p>	<p>市の方針に変更がなければ、回答の内容も変わらないため、前回の回答と同じ場合もございます。</p>
4	<p>議員は、実際の避難所が開設されたら、自分は避難の必要がなくても実際に体験してほしい。1時間でも一緒に体育館で過ごしてほしい。</p>	<p>これまでも、実際の災害時や避難訓練の際に各議員が議員活動の中で、避難所を訪れ、状況の確認等を実施しております。今後も議員活動の中で確認してまいります。</p>
5	<p>意見交換会の回答をもっと早いサイクルで出してほしい。回答が半年後では、遅すぎでは。特に参加者へ、回答がしっかり届くよう考えてほしい。</p>	<p>ホームページでの回答公開を基本とし、意見交換会の中で、至急対応が必要な案件や参加者から直接回答が欲しいとの要望があれば、個別の対応を検討し対応します。</p>
6	<p>この意見交換会は、ハイブリッド型でとても素晴らしい場。もっと市民が参加したほうがよい。周知をもっと工夫すべきでは。</p>	<p>これまでの周知のほか、意見交換会に参加された方々に、意見交換会の活動を周りの方へ伝えてもらえるよう案内し、ロコミで意見交換会の活動が広がるよう取り組むなど、新たな周知を行います。</p>